

※5日間の予定でハワイ旅行に出かけた場合。

日本とハワイは19時間の時差があるため、日本時間の8時、20時に内服している方は、ハワイ時間の13時(前日)、1時に内服することになります。このままではお子さんはハワイで深夜に内服することになるため、時間調整を行います。ハワイ到着後、13時の内服(日本時間で翌日8時に相当)を中止します。これは1回飛ばすことになるため、スキップとも呼びます。そして、ハワイ時間の20時になったら内服を再開し、8時、20時のパターンで内服します。帰国日はハワイ時間の8時に内服します。日本に戻ったら、日本時間の20時に内服を再開します。下図のように旅行日程の最初と最後で内服間隔にばらつきは生じますが、確実に免疫抑制剤を内服できることとなります。



図1 免疫抑制剤内服時間の調整例(ハワイ)

⑪動物とペットとの関わりにおける注意点

動物には多くの病原体が存在するといわれています。そのため、積極的に動物を飼うことはできるだけ避けましょう。

動物と関わる際は、感染予防のために動物に噛まれないようにすること、排泄物などに触れないようにすることなど注意ください。また、口移しで物をたべさせたり、動物に触れた手で目や口を触ることは避けてください。

動物に触れた場合にはきちんと手を洗う習慣をつけましょう。

※ペットをすでに飼われている場合はご相談ください。当院の臓器移植センターのHPに「臓器移植を受けたお子さんとペットの生活」について資料がありますので、こちらをご参照ください。

<https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/special/img/110826-1.pdf>

⑫歯科健診

歯の定期健診を受けましょう。かかりつけの歯医者に服用中の薬剤をお知らせください。抜歯処置をする場合には、予防的な抗生剤投与やプログラフの休薬が必要となる場合があります。詳しくはhttps://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/special/for_recipient.pdfをご参照ください。

⑬他院を受診する際の注意点

他院を受診する場合には「肝移植を受けたこと」「現在服用中の薬剤」を担当の先生に伝えるようにしてください。

⑭薬の飲み合わせ

(1) マクロライド系の抗生剤(クラリス・ジスロマックなど)はプログラフの血中濃度を上昇させる相互作用があるため処方しないようお願いしてください。